

～ふらっとホーム2012での対話を紹介～

生かします

に意見を交わす「ふらっとホーム」を、各区で開催しました。れた意見の一部を紹介します。

は市民の声を聞く課 ☎211-2045



住 民同士が互いに助け合えるような環境づくりの一つとして、まちづくりセンターなどをもっと気軽に利用できるように促していくことが大切ではないでしょうか。
豊平区 鈴木さん(50代、男性)

私 の住む地域では、高齢者に食事会などを楽しんでもらうサロンを開催しています。一人暮らしの高齢者は外に出る機会が少なくなるもの。子どもたちとの交流もあり、皆さん喜んでくれています。
東区 清水さん(60代、女性)

ふらっとホームとは？

市民と市長が、「福祉」「子育て」「防災」などの身近なテーマに沿って、気兼ねなく意見交換をしながら、暮らしやすいまちづくりについて考える場です。参加者は、無作為に抽出した市民の中から希望者を募り、抽選で決定。毎回活発な議論が行われ、その中のいくつかは具体的な施策に結びついています。

見守りに地域のチカラを！
高齢者や子どもたちの



高 齢の母の自宅に、時折民生委員の方が訪れて声を掛けてくださいます。そういった地域の人たちの支えがありがたいですね。
北区 小林さん(40代、女性)

何 より近所同士のコミュニケーションが重要だと感じます。例えば、地域で早朝ラジオ体操を推進すれば、毎朝顔を合わせることで交流が生まれるし、健康維持にもつながるのでは。
手稲区 匿名(60代、男性)

一 人暮らしの高齢者に、情報がきちんと届けられているか心配です。特に健康管理などの情報を提供してくれる場があると良いと思います。
西区 古舘さん(70代、女性)



■ 昨年の実施日や会場など

区	実施日	会場	対話者数	傍聴者数
中央	10月13日	中央保健センター	8人	25人
北	12月18日	サンブラザ	6人	15人
東	9月22日	東区民センター	5人	30人
白石	11月17日	白石区民センター	7人	20人
厚別	9月30日	羊ヶ丘病院通所リハビリテーション「スマイル」	7人	30人
豊平	10月27日	豊平区民センター	7人	30人
清田	11月10日	清田区役所	3人	22人
南	11月8日	南区民センター	5人	22人
西	12月14日	西区民センター	8人	18人
手稲	10月20日	手稲区役所	5人	28人

昨年度のふらっとホームでの意見から、こんな取り組みが生まれました

防災のための日頃の備えを地下鉄で広報

多くの市民が利用する公共交通機関を活用して、防災の意識を高める広報を行って、という声から、地下鉄駅構内の電光掲示板に災害への備えや心構えを表示しました。

おむつ用ごみ袋のサイズが選択制に

2歳未満の乳幼児がいる世帯に支給する家庭用指定ごみ袋の大きさが、20ℓのみでは使いづらいという声から、10ℓと20ℓから選べるようにしました。

小中学生の教育に自転車マナーを導入

交通安全に関する教育の充実が必要という声から、市内の全小中学生に自転車走行のルールやマナーに関するリーフレットを配布しました。